

集会宣言

私たちは本日、2024「政策実現 総決起集会」を開催した。

本集会は、第50回衆議院選挙が目前に迫る中、この選挙戦の重要性を大阪市内で働く構成組織ならびに地域・地区協議会組織で改めて共有し合う場である。

衆議院は昨日9日に解散され、15日公示27日投開票というスケジュールで事実上の選挙戦がスタートした。

石破総理は、総裁選においては、予算委員会での論戦を重視し、「国民が判断できる材料をきちんと示す」とまで語っていたにも関わらず、国会論戦で野党に十分な機会を与えなかった。まさに「朝令暮改」「言行不一致」であり、あきらかに、「疑惑隠し」「争点隠し」を狙った、党利党略を優先させた行為であると言わざるを得ない。

また、総裁選に当選した際のあいさつでは、「公正・公平で謙虚な自民党を取り戻すために力を尽くす」と述べてはいたが、「政治とカネ」の問題を解決する姿勢は乏しく、国民の政治不信はさらに強まっている。

連合は、今回の選挙において「与党を過半数割れに追い込み、今の政治をリセット」するという明確な目標を掲げて取り組んでいる。加えて、今回の選挙結果は、構成組織の仲間が闘う来年の参院選にもおおきな影響を及ぼすこととなる。

一方、大阪においては、維新一強という特殊な政治情勢の下での闘いとなり、第一義には「維新の伸張を許さない」こととした取り組みを展開していかなくてはならない。兵庫県知事問題への対応や頻発する不祥事などで、維新の勢いにも変化が見られつつあり、今回の選挙は、大阪の政治状況を変える絶好の機会でもある。

私たちは、大阪府域の連合大阪推薦候補の必勝に向けた取り組みはもちろんのこと、空白区においても引き続き、支援政党との連携の下「志を同じくする」政治勢力の底上げをはかり、扇動型政治に決別し、排除から共生社会へ、対立から対話へ、熟議による真の民主主義を取り戻すため、連合大阪大阪市地域・地区協議会30万人組合員が一丸となった取り組みを展開する。

「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけ、ともにたたかい抜こう！

2024年10月10日

連合大阪 大阪市地域協議会 2024「政策実現 総決起集会」